

2021年度の活動報告（概要）

鹿児島県作業療法士会の地域リハビリテーション推進部には2014年より「かごしま認知症OTネットワーク」という下部組織が配置されており、約30名のネットワーク員が活動しています。2021年度は、①公開講座として家族会や行政・医師や看護師をお招きし、それぞれ特徴ある取り組みを紹介して頂きました。講演後にはシンポジウムを行い、研修会のアンケートでは満足度の高い回答を得ることが出来ました。②生協コープ鹿児島への協力事業として、鹿児島県内の各地域で学習会を実施しています。

認知症アップデート研修(2022年度実施)

認知症はどの領域においても関わる事が多く、最低限の知識を習得する必要があることから、2022年度は3年ぶりに認知症アップデート研修を7月に実施しました。基礎的な内容から実際の取り組みまでを知ることが出来る内容の研修会となり、約40名の会員が参加しました。

交流会(2022年度予定)

「県内の認知症の人に関わるOTは実際どのような支援をしているのか？」分野や領域は問わず、それぞれの実践を発表・聴講し、交流を行うことで、それぞれの臨床に繋がるものにしたいと考えています。

生協コープかごしまへの協力事業（2019年から継続）

「認知症に負けない、健康な暮らしづくり」をテーマに生協コープかごしまと鹿児島大学保健学科・鹿児島県作業療法士協会が提携し取り組みを行っています。県内の各地域で学習会などを行っています。

COVID-19の影響・対応など

生協コープかごしまへの協力事業については、生協組合員を対象とした学習会を対面で実施しています。一方、県士会の会議や研修会はオンラインで実施している状況が続いています。

